



Junior High School KAMON NEWS

鴨志田中学校通信

第4回 学校運営協議会

令和2年度 第4回 学校運営協議会が行われました

令和2年度最後の会議を3月16日（火）に行いました。今回の会議では、本校における教育活動全般に関する振り返りの話し合いを行いました。そして、保護者・生徒・地域等各方面からいただいたアンケートの声や学校運営協議会の皆様からいただいた御意見をもとに学校経営計画の見直しを行い、新年度をスタートさせます。

目次:

学校行事について 1

- ・4・5月行事予定と年間行事予定
- ・2年職場体験報告 ・1学年遠足
- ・3年卒業期～卒業式
- ・通級指導教室より

教育活動の成果と課題、 次年度へ向けて 2

はじめに

はじめに戸塚会長より、「オンラインの学校運営協議会が定着してきました。難しい状況の中、学校として色々な工夫をしていただきました。学校の取組を見て、新しい形でのチャレンジの大切さを強く実感し地域も学校に遅れないように環境を整えていこうと考えています。」とお言葉をいただきました。

学校長からは、新年度の入学式に御来賓をお招きできないこと、ブロック小学校も同じ対応になることを報告。また、「来年度は、GIGAスクール構想・鴨中元年。間もなくクロームブックの生徒一台配布やロイロノート、AIドリルの導入が始まります。」「新学習指導要領も始まり、評価評定の方法が変わります。」「学校行事では10月に行われる文化発表会は合唱コンクールのみ行う形に変更。劇は実施しません。体育大会は5月を予定。今年度同様、平日に縮小開催。修学旅行や自然教室は今のところ実施予定。いずれの行事も動向を見て判断せざるを得ない状況が続きそうです。」との話の後、真下先生の著書「幸せな学校の作り方」を紹介し、学校でも購入して教職員で共有することと図書室にも数冊置いて生徒にも閲覧可能にすることについての話しがありました。

令和2年度 鴨志田中学校学校運営協議会委員

会長	戸塚 昌行（鴨志田町内会長）
副会長	高野澤明美（鴨志田中学校PTA会長）
委員	奥田 妙子（中里北部連合町内会長）
委員	福島由香子（地域コーディネーター）
委員	富川 貴子（主任児童委員）
委員	照井 仁（鴨志田地域ケアプラザ所長）
委員	真下麻里子（宮本国際法律事務所弁護士）
委員	濱崎 利司（鴨志田中学校校長）
事務局	高沢 忠弘（鴨志田中学校副校長）
事務局	近藤 幸男（鴨志田中学校主幹教諭・通級主任）
事務局	近藤 啓太（鴨志田中学校主幹教諭・教務主任）
事務局	高田 悟（鴨志田中学校教諭・3学年主任）
事務局	米川 久子（鴨志田中学校教諭・2学年主任）
事務局	石川祐美子（鴨志田中学校教諭・1学年主任）
事務局	長谷川 満（鴨志田中学校教諭・生徒指導専任）

※敬称略

学校運営協議会とは

「法律に定められた権限を与えられた、地域・保護者・有識者などから構成される学校運営改善を目的として協議する組織」です。設置校数は年々数を増し、令和2年10月には横浜市内公立学校509校のうち262校に設置されています。横浜市では令和4年度末までに全校設置予定です。

本協議会では、今年度も子どもたちのために、よりよい学校づくりへ向け、学校・家庭・地域の連携を進めております。また、この協議会に「いじめ防止対策委員会」を併置し、いじめを中心に子どもたちの抱える課題について話し合い、解決を図っていきます。

学校教育目標

「感動を分かち合おう」
「目標を高く掲げよう」
「真理を追究しよう」

これらの目標の具現化のために方針を立て、手立てを工夫し、その結果を分析して、より高い目標へ向け次の方針を立てて取り組んでいきます。



R3年度3年修学旅行(奈良・京都)は6月10日(木)から12日(土)まで、2年自然教室(長野県戸狩)は6月7日(月)から9(水)までの2泊3日で実施します。(写真は令和元年度です。)



第37回体育大会は、5月20日(木)に実施します。雨天順延になりますが、順延が続いた場合のスケジュールの詳細は、後日改めてお知らせします。

話合いでは…

1 学校行事について

学校運営協議会では、毎回学校行事について次の協議会開催日まで実施内容のお知らせと今回までの取組の総括をしています。実施日のお知らせと結果報告だけでなく、行事实施後の反省やアンケート結果をもとに次の改善を生かす手立てについて話し合っていくことを重視しています。

4・5月行事予定と年間行事予定

令和3年度から、始業式・入学式が4月7日に変更になり、8日に離任式となります。新しく来られる先生方との出会いと長年お世話になった先生方との別れの式からスタートします。月予定は4月に配布いたしましたが、主な予定としては、学級懇談会・部活動保護者説明会、家庭訪問、校外学習説明会、学習評価説明会などがあります。学習評価説明会では、新学習指導要領施行に伴う評価方法について説明いたします。

また、第37回体育大会は5月20日(木)半日での平日開催になり、今のところ修学旅行・自然教室は例年通り6月初～中旬に予定しています。なお、今年度4月の家庭訪問につきましては、情勢をみて地域回りの形となるかもしれません。

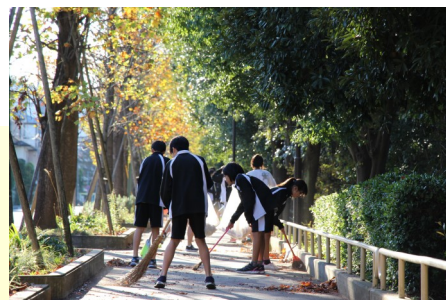
保護者の皆様には、改めて年間予定表



個人面談は令和2年度同様に終業式前に、12月は全学年同一期間に、感染症拡大防止に努めながら実施します。

を配布いたします。以後変更等が出てくる場合がありますので、毎月のお知らせ等でお確かめいただければと思います。

さらに、5月を目途に配布予定の鴨志田中・第一小・緑小、連合町内会の予定が掲載されている「地域カレンダー」も作成中です。どうぞ御活用ください。しかしながら、コロナ禍の状況次第では、変更があり得ることをご了承ください。



地域清掃は、昨年実施できませんでしたが、今年度はできる形を模索しながら実施していきたいと考えています。(写真は令和元年度)

2学年オンライン職場体験報告

今年度は1月22日（金）5, 6校時にオンラインでの職場体験を実施しました。コロナの影響で例年通りできない中、NPO法人アスリードと連携し、関係6社の方とオンラインで行いました。例年マイスター講話でお世話になっている「明日の株式会社」にも入っていただきました。NPO法人アスリードのスタッフとの打ち合わせを重ね、オンライン双方向での授業が実現しました。アスリードの方々の丁寧な御指導のもと、オンラインで説明を聞いたり、見学したりと「はたらくこと」について学ぶ良い機会となりました。仕事を行う体験はできませんでしたが、生徒が質問する機会があり、現場の方々の思いに直接触れることができたことは大きな収穫でした。説明していただいた方々の熱心さに心を打たれた生徒も多くいました。来年度も状況次第で実際に職場を体験できるかどうかは不明ですが、「できる形」を探りながら行っていきたいと思います。



1学年 遠足 こどもの国

5月に予定されていた自然教室が中止になり、その代替行事としてこどもの国に半日で遠足に行きました。学級委員たちが中心となり、6人ぐらいの班に分かれ色々なミッションをクリアしてポイントを稼ぐオリエンテーションを実施しました。iPod touch を利用し、様々なお題の写真を班員と一緒に撮影し、青空の下でのびのび過ごしました。学級委員たちが考えた三色鬼ごっこも実施し、走り回って楽しむことができました。最後に学年全員でそろって写真を撮ることができたことが感慨ひとしおでした。多くの生徒が行ったことがある近いところでしたが、学年全員で楽しく過ごせたことが思い出に残ったという生徒の感想も多くあり、学年の最後に絆を深める行事を行うことができました。



3学年 卒業期の様子～卒業式

中学校最後の学年なので色々なことを経験できればよかったのですが、少々残念な一年となりました。卒業期の2・3週間でようやく卒業遠足・お楽しみ会などを実施できました。卒業遠足は「相模湖プレジャーフォレスト」へ。雨も途中から止み、さらに他校も午後には帰ってがらになり、綱渡りのようなスリルあるアクティビティなども満喫できました。その他、卒業期の特別時間割の中で、球技大会・お楽しみ会なども行いました。お楽しみ会は、各クラスの出し物・ダンス・劇・ピアノ演奏などがあり、“小さな文化祭”のようで、できなかったことをやれた充実した卒業期となりました。

卒業式は、保護者1名参加、指定席で座席の間隔を開けて行いました。配信は叶いませんでしたが、保護者の方に見ていただけたのが幸いでした。歌はコロナの関係でできませんでしたが、卒業式前に録音していたものを流しました。活動ができなかった分、気持ちのこもった合唱になりました。制限された中ではありましたが、思い出に残る卒業式でした。



通級指導教室から

昨年度は50名弱の卒業生を送り出しました。例年と違うのは、進路先に通信制の学校が増えたこと、最近では自分の学び方にあった学校を選ぶという傾向が増えました。特にプログラミング・eスポーツなどを学べるコースを設定している学校も出てきました。早く進路決定した生徒が、その学校の中等部に参加して4月に良いスタートが切れるような高校側の配慮も見られました。また、今年は通級指導教室がマスコミにも取り上げられる機会がありました。読売新聞中高生新聞3月の発達障害の特徴に関する取材や、「NHK Eテレ ハートネットTV」の発達障害に関する番組の取材がありました。今後も啓発活動を続けていきます。今年度は200名近くの在籍が予想されています。指導室が満室になり溢れてしまう状況で、教員が足りない現状を少しでも改善できるよう、今後も市教委と連携しつつ対応を考えていきます。

2 教育活動の成果と課題、次年度へ向けて（学校より）

昨年度は生徒が集う行事がことごとく中止・縮小を余儀なくされた中で、情報教育実践推進校として「ICT活用」を進め、視覚的・効果的・効率的に学習理解を深めることができました。次の段階としてロイロノートというアプリケーションの導入も含め、生徒同士の考えを共有し授業に生かす取り組みも始めています。また、行事のYou Tube配信・学校保健委員会の生徒による動画編集・オンラインを活用しての『弁護士によるいじめ予防授業』、『NPO法人アスリードと連携した職場体験』など行事を工夫して実施できました。『ブロックの小学校と連携したメンター研修』、『Zoomなどを利用した学校運営協議会』なども成果として挙げられます。インターネットの環境整備が済み、オンライン化が進んでも、ICTの活用は「目的」ではなくあくまで「手段」であり、ICTをどう使っていくかという視点が大切だと感じています。

また、保護者からのアンケートの報告では、特に3年生保護者を中心に、「先生、友人と良い関係ができています。」「学校が安心できる場所である。」という結果が前年度よりかなり増えていました。学校が安心できる場所だと思えていると「自分が好き」、「主体的に活動する」ということにつながる事が学力学習状況調査の結果からもわかっています。教職員間で共有していた「寄り添った支援」が浸透している結果だと推察されます。これからも、生徒に寄り添う指導を大切にしながら教育活動を進めていきたいと思います。

2 教育活動の成果と課題、次年度へ向けて（学運協委員の皆様より）

・鴨志田中学校の色々なチャレンジが伝わってきた。
学校アンケートの結果報告の表れているように、学校が「つながりの場」として機能している。社会が家族すら分断されてしまう状況の中で、学校が子供たちの心の中でつながる場所を提供し、社会や大人とのつながりや、友達同士のつながりをつくる役割をしっかりと果たしてくれた。学校の寄り添った支援がいい形で子供たちを支えていた。想像していなかった状況でも前向きに進んでいる。
・模擬面接や地域カレンダーも今年度は例年通りの予定で進めており、地域と中学校のつながりを深めていきたい。

・地域の方も新しい形でのつながり「気づきの和連絡会」が進み、生徒の皆さんも含めたつながりをつくっていききたい。
・ケアプラザもネット環境整備がすすみ、地域住民も利用できるWi-Fi環境ができた。寄り添った支援が「気づきの和連絡会」を通して中学校とも連携していければと思う。
・コロナ禍で閉塞感が強まっているなかで、生徒・保護者との関係がより良くなっているのは素晴らしい。有事の時にはほころびが出やすいが、そんな時にいい結果が出ていることは素晴らしい。良い空気感でできている鴨志田中はよい例として今後取り上げていきたい。

おわりに

最後に、高野澤副会長よりお話をいただきました。「保護者の代表として今までこの協議会に参加させていただき、学校や地域のことを多く知ることができた。」「このような開かれた場で、子どもたちのことを考えられるのは大変ありがたいことだと認識している。」「これからは地域の一員として何らかの形で協力していきたいと思っているので声を掛けてください。」とのことでした。このお話を受け、出席者全員がこれからも学校・家庭・地域の三者の連携をより強めていくことを再確認することができました。

この1年間KAMO NEWSとして学校運営協議会の様子をお知らせしてきました!

昨年度も本校の教育活動に対する御理解と御協力ありがとうございました。本校では、保護者・地域の皆様と手を携え、地域に根差した教育活動を今後も継続し、深化させてまいります。学校運営協議会では、学校・家庭・地域の三者がともに子どもたちの健やかな成長のために、考え、行動していく環境づくりをますます進めていきたいと考えています。ここに1年間のお礼を申し上げるとともに、改めて今後とも変わらない御理解と御協力をどうぞよろしくお願いたします。

横浜市立鴨志田中学校

〒227-0033 横浜市青葉区鴨志田町536

電話: 045(961)3771

FAX: 045(961)1495

通級指導教室 045(961)8727

心の相談室[スクールカウンセラー] 045(961)3910 ※主に木曜日来室